

研究助成の概要. III

- ① 消防署の救急搬送業務の現状と将来予測を踏まえた消防施設の更新・再編と救急搬送業務の最適化に関する研究
- ② 公立大学法人大阪 大阪府立大学工業高等専門学校 総合工学システム学科 都市環境コース
- ③ 講師 白柳 博章
- ④ <https://www.ct.omu.ac.jp/studies/teachers/staff/>

1. 研究分野及び題目

(II-5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

2. キーワード

救急搬送業務の現状と将来予測、消防施設の更新・再編、救急搬送業務の最適化

3. 研究内容

(1) 研究の目的

日本では、人口減少・少子高齢化が進む中で救急搬送件数は増加傾向にあり、また公共施設の老朽化から公共施設の更新・再編を考える必要がある。本研究では、京都府の乙訓地区を対象として現在ならびに将来における搬送件数や業務負担量を定量的に把握した上で、施設や立地箇所の安全性といった観点や地域の取り巻く状況等を加味して、消防施設の更新・再編と救急搬送業務の最適化に関する具体的提案を行う。

(2) 研究のゴール

最適となる消防施設位置を具体的に提案するにあたり、消防施設から搬送現場間、搬送現場から救急病院間の時間評価の指標を用いた「平均所要時間」「期待所要時間」、また、平等性に関する指標として「平均格差時間」の3つの指標の提案・算出を行う。そして、京都府の乙訓地区（向日市・長岡京市・大山崎町）の乙訓消防本部を対象として、地区内における救急医療体制の再構築に活用することをゴールとする。

